

は人それぞれです。しかし学校側は全力でサポートしてくれるので法政高校に入学するにあたってその不安を持つ必要はないと思います。ずばり法政高校のいいところは生徒と先生が作り出す雰囲気だと最後にアピールします。



加藤 国夫

部活に勉強に忙しい毎日を送っている中学生が多いと思います。なぜ勉強するのだろうか、とふと疑問に感じる人もいるでしょう。分かりやすい答えは「受験があるから」。それでは受験が終わったら勉強しなくてよいのでしょうか……▼勉強する理由として、次のようなことを考えてもいいのではないのでしょうか。勉強することで、いまの自分から離れられるようになる、いまの自分の視点とは違う視点に立って世界を眺められるようになる。漠然と見ていた夜空の星が、星座の知識をもつと、くっきりと違ったものに見えてくるように。……ということは、生きている限り学び続ける必要があります。

『アルジャーノンに花束を』(ハヤカワ文庫)ダニエル・キイス著



『アルジャーノンに花束を』は知的障害をもつ「チャーリー」が手術により知能が向上し天才に^{へんぼう}変貌していく物語です。「チャーリー」自身の経過報告という形をとっています。たどたどしい言葉しか使えない状態から知能レベルが上がるにつれ徐々に変わっていく様子が文体から読み取れます。読者は「チャーリー」の視点にたつて世界が変わっていくのを体感することになります。全国の中学・高校教師が選んだ「君に贈る本大賞」第1位の本です。

『取り残される日本の教育』(講談社プラスアルファ新書)尾木直樹著

『取り残される日本の教育』はこの春、法政大学を退官された尾木直樹氏の本です。副題には「わが子のために親が知っておくべきこと」とあります。保護者の方に読んでいただきたい本です。私たちにとっては当たり前の「高校受験」や「部活」が、世界的にみるとかなり異常だということがわかります。そういうことを知るだけでも、わが子を取りまく世界が少し違って見えてくるかもしれません。



※ここで紹介された本は萌学舎文庫(自習室の本棚。2週間貸出)にあります。

◆ 行事予定

□ 5/18~24 中間テスト対策週間 (通常授業を1週間ストップし中学ごとに対策授業をします。

学校により期間がずれる場合があります。詳しい日程表は後日配布します)

□ 5/21,28(日) 定期テスト対策自習質問日(教師が監督し勉強に専念させます)

□ 6/5~10 小4,小5,小6,中1,中2 父母面談(担当教師とマンツーマンの面談です)

□ 6/18 第2回北辰テスト[5/18~27に受験料(4600円)を持ってきてください]【編集/加藤】